

特集

地域の皆さんとの交流を大切に
広報誌『まごころ茨木』創刊

新任医師のご紹介

新しい診療科が加わりました！

お知らせ／1Fに電子モニターを設置しました

NEWS／外来部門改装工事完了のご報告

コラム／整形外科について

Let's COOKING From 栄養課

診療所のご紹介

Topics

INFORMATION



ご自由にお持ち帰りください

地域の皆さんとの交流を大切に 広報誌『まごころ茨木』創刊

病院の取り組みやスタッフの素顔を紹介

旧博愛茨木病院は、2020年4月にみどりヶ丘ヘルスケアグループに加わり、同年12月に茨木みどりヶ丘病院に名称を変更しました。広報誌『まごころ茨木』を通して当院の取り組みや医療従事者の素顔などを紹介し、親しみを感じていただければと思っています。

診療科目を広げ、救急患者搬送率の向上を図る

2020年7月から着手してきた外来部門の全面改装工事が完了し、明るい雰囲気になりました。併せて最新のMRI、64列マルチスライスCTを導入し、救急室も新設しました。

茨木市内救急患者搬送率は約40%と低く、救急医療の強化が求められています。当院の現状は整形外科が中心ですが、循環器内科・脳神経外科な

どの医師も勤務しています。さらに高槻のみどりヶ丘病院と連携し、患者さんの搬送や内科疾患で多い消化器の内視鏡検査も可能です。幅広い診療科目に対応できるようになり、救急患者搬送率の向上に貢献できると考えています。

常に患者さんの立場に立った治療を

外科医として座右の銘にしているのは「鬼手心」。手術で患者さんに痛い思いをさせているからこそ、常に患者さんのためになっているかを考えています。

茨木には愛着があり、今はなくなった北大阪警察病院に約30年勤務していました。桜がきれいな場所が多く、毎年楽しめます。今年は好きな阪神タイガースが開幕から調子がよく、これもうれしいですね。

ところで新型コロナワクチンの接種が始まりました。副反応を心配される方もおられますが、確率は非常に低く、現状では感染を抑える一番の方法といわれています。特に高齢者の方は接種していただくようお願いいたします。



親しまれ、信頼される病院へ

2020年2月17日に副院長として着任しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の皆さんに直接お目にかかれる機会が限られていますので、広報誌『まごころ茨木』が茨木みどりヶ丘病院のことを知っていただくきっかけになればと思っています。現在、消化器・一般内科医として、消化器疾患や高血圧症・脂質異常症・糖尿病・痛風などの慢性疾患、さらには誤嚥性肺炎・尿路感染症・敗血症といった感染症に対する診療を行っています。当たり前のことではありますが、患者さん・ご家族の話に耳を

傾け、丁寧に分かりやすく説明することを心がけています。また、内科と整形外科、内科と脳外科というように、複数の診療科で連携を密にして、診療科をまたぐ検査や治療にも柔軟に対応しています。みどりヶ丘ヘルスケアグループの一員となり、皆さんにとって親切で来ていただきやすい病院になるよう取り組んでいます。

救急から療養、 看取りまで対応

病院では、突然の病気や外傷などにより入院された後に、様々な理由からご自宅やご施設に戻れない方がいらっしゃいます。当院は急性期病棟と療養病棟を併せ持っていますので、比較的長期の療養継続が可能です。療養病棟では、

ご高齢の方々の苦痛をできるだけ減らすように治療看護に努めています。

地域の皆さんとともに茨木を盛り上げたい

茨木は、私にとって「久しぶりに帰ってきた」場所です。茨木高校を卒業した多くの先輩後輩、同級生の方々がお住まいのことと思います。コロナ禍でまだご挨拶ができていませんが、地域を盛り上げていくお手伝いができればと考えています。美味しいものを食べたり飲んだりすること、音楽を聴くこと、上手くはありませんがゴルフをすること、などなど好きなことも多いので、落ち着いた際には、地域の皆さんとご一緒させていただければと思います。

これからも、「診て(見て)もらってよかった」と皆さんに思っただけの病院を目指していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

生まれ変わって行く病院に
ご期待ください



社会医療法人祐生会 茨木みどりヶ丘病院 副院長 兼 内科部長

清水 健太郎

専門分野：消化器内科・一般内科
日本医師会認定産業医

KENTARO SHIMIZU

地域に愛され、
信頼される病院を目指す



社会医療法人祐生会 茨木みどりヶ丘病院 病院長

朱 明義

専門分野：消化器外科

AKIYOSHI SHU

新任医師のご紹介

内科

内科医として勤務させていただいています八木原です。内科疾患を中心に診療を行っています。それぞれの患者さんご家族に対し、寄り添った治療を心がけ最適な医療を行うこととお約束します。これまでの経験を活かし、地域の皆様の健康増進に尽力したいと考えています。



八木原 俊克
Toshikatsu Yagihara

りんくう総合医療センター 名誉理事長
国立循環器病センター 名誉技術顧問

整形外科

はじめまして！整形外科医の中 信裕です。一般外傷治療を中心に幅広く診察させていただいています。体の痛みは本当に辛いものです。僕自身も首のヘルニアに苦しんだ経験があります。些細なことでも構いません。お困りのことがあれば遠慮なく外来診察にお越しください。お待ちしております。



中 信裕
Nobuhiro Naka

新しい診療科が加わりました！

脳神経外科

日々の生活で、頭痛やめまい、ふらつき、耳鳴り、物忘れ等の症状でお悩みではないでしょうか？当科では最新のCTやMRI装置で検査を行い、原因となる病気をお調べし、治療方法のご提案をします。月曜日から木曜日の午前診察を行っています。

救急科

救急専用の処置室を設け、救急救命士も新たに外来スタッフに加わりました。新しく「高規格救急車」も導入しましたので、街中で茨木みどりヶ丘病院の救急車をお見かけの際には、心の中でエールを送っていただけますと幸いです。24時間365日、地域の皆さまの安全・安心のための救急救命活動に努めてまいります。

小児科

開院から40年目という節目の年で、念願の小児科を立ち上げることができました。初めは火曜日の午前診察のみとなります。茨木市の子どもたちの健康と元気を支えられる病院を目指し、お子さまが安心して楽しんで受診していただける環境作りにも、スタッフ一同で尽力してまいります。

お知らせ 1Fに電子モニターを設置しました

正面玄関横の壁面に、電子モニターを設置しました。病院からのお知らせや、みどりヶ丘ヘルスケアグループに在籍している医師情報を掲載しています。今後も、当院を広く地域の皆さんに知っていただくため、情報発信を行ってまいります。



外来部門改装工事完了のご報告

当院の前身の博愛茨木病院は1981年4月に開院しました。当院は144床の中規模病院であり、急性期の治療とその後のリハビリに対応した、いわゆる混合型の病院として地域医療に貢献してまいりました。周辺は、茨木でも古くからある住宅地で、高齢者も多く、地域の皆さんに親しみやすい病院となるべく、高齢者を念頭に置いた医療体制を取ってまいりました。2020年4月に高槻市のみどりヶ丘病院(329床)を擁するみどりヶ丘ヘルスケアグループの一員となり、同年12月に病院名も茨木みどりヶ丘病院と改称しました。みどりヶ丘ヘルスケアグループとなってから様々な取り組みを行っています。まず、2020年7月に特に老朽化した外来部門の改装工事に着手しました。診察室や待合室を、全面的に明るく患者さんが居心地よく過ごせるスペースとなるように配慮し、2021年2月末に完成しました。併せて2020年12月には新たにMRIおよび64列マルチスライスCTを設置し、稼働さ

せることができるようになりました。また、救急部門の充実を図るため救急室・救急科を新設し、2021年3月1日から稼働しており、救急救命士も2名勤務しています。救急室には救急車が直接横づけできる入口を作り、そのまま患者さんを搬入できるようになりました。そして、整形外科、脳神経外科、外科および内科の救急患者さんに対応できる医療機器を整備し、これまで夜間救急対応の当直は整形外科医師だけでしたが、4月より月曜日から金曜日までは内科医師も加わり、内科疾患に対しての救急対応ができるようになっていきます。また、脳梗塞・くも膜下出血等への救急対応が可能な脳神経外科も新設しました。今後も、外来部門については循環器疾患や糖尿病の専門外来をさらに充実させ、より一層安全で良質な医療を地域住民の皆さんにご提供できるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



待合スペース



救急室

整形外科について



整形外科 谷口 礼子

日本整形外科学会整形外科専門医

整形外科といえばどんな病気を思い浮かべますか？
様々な疾患がありますが、主な病気は、膝、股関節、首
や腰や手足の痛み、関節リウマチ、骨粗鬆症、スポーツ
外傷などです。その中でも特に、膝と腰の痛みで困っ
ておられる方が多いように思います。

膝の痛みの中で多い原因は、変形性膝関節症です。長
年使っているうちに膝のクッションの役目をしてい

る軟骨がすり減ってきて、骨と骨が当たって痛みが生
じたりします。下肢の筋力強化やヒアルロン酸の注
射、薬などで痛みが軽減することも多いですが、痛み
が強い場合は、手術(人工関節)をしたりします。

腰の痛みで多くみられるのは、腰椎椎間板ヘルニアや
腰部脊柱管狭窄症などです。腰にある神経を圧迫し、
痛みやしびれが生じる病気です。腰の注射や薬などで
痛みは軽減できますが、歩きにくくなったり、痛みが
強く日常生活に支障をきたす場合には、手術をして改
善したりします。

また、意外と足の巻き爪や胼胝(いわゆるタコ)で下肢
全体の痛みを生じる方もおられます。

私は週1回金曜日の午前に整形外科外来を担当してい
ます。この病院の非常勤医として約9年が経ちますが、腰や
四肢の痛みなどでお困りのことがありましたら、お気軽
にご相談ください。今後ともよろしくお願いいたします。

Let's
COOKING
From
栄養

抗酸化力を高めて病気の予防からアンチエイジングまで
食材の持っている抗酸化力を上手に利用し
病気に負けない身体を作りましょう！

鶏肉のグラタン

鶏の胸肉や野菜、魚などには水に溶けやすい性質の抗
酸化物質が多く含まれており、煮出したスープごと食
べるグラタン等で効率的に摂取することで疲労回復
効果が高まります。酸化物質は、脂溶性のビタミン
なので牛乳などの油で体内への吸収力も増します。
グラタンの食材は、下記の野菜や鮭の切り身に変更し
たり、シチューやカレー、スープにしてもおいしく出
来上がりますのでおすすめです。



抗酸化作用の強い食材

鳥の胸肉(イミダペプチド)・ブロッコリー(緑のポリ
フェノール)・トマト(赤リコピン)・緑黄色野菜(βカ
ロチン等)・茄子(紫アントシアニン)・シャインマス
カット(ポリフェノール)・鮭(アスタキサンチン)等

<材料>

鶏胸肉…60g ブロッコリー…30g 玉葱…30g 人参…15g
冷凍里芋…40g マカロニ…20g 牛乳…200ml 小麦粉…大2
バター…10g 塩・胡椒…少々 コンソメ…小1 パン粉…大1
オリーブオイル…大1 とろけるチーズ…15g 粉パセリ…少々

<作り方>

- ①フライパンでパン粉にオリーブオイルをかけて炒め、取り
出しておく。
- ②フライパンにバターを入れ、鶏肉・玉葱、茹でた人参を加え
炒める。
- ③②に小麦粉を入れて炒め牛乳を加えホワイトソースにな
るようにする。そして、塩・胡椒・コンソメを加え、冷凍里
芋・茹でたマカロニ・茹でたブロッコリーを入れて煮る。
- ④グラタン皿に移し、上からとろけるチーズと炒めたパン粉
をかけてオーブンで焼く。
- ⑤粉パセリをかけて出来上がり！

MEMO

体重1kgあたり1gの
たんぱく質摂取が1日の目安です。

鮭100g…たんぱく質20g
牛乳200ml…たんぱく質6g
野菜350g(そのうち緑黄色野菜120g)…たんぱく質5g



診療所のご紹介

当院では地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介な
どの連携を行っています。ここはスムーズな情報共有によって当院とともに地域の医
療を支える「医療連携協力機関」の皆さんをご紹介します。

すがの整形外科

茨木みどりヶ丘病院からエキスポロードを渡ってすぐの場所にある
「すがの整形外科」。菅野博院長に患者さんへの熱い思いを聞かせてい
ただきました。

●開院したきっかけは？

私は大学を卒業後、20年以上博愛茨木病院(現・茨木みどりヶ丘病院)で整形外科を専
門に診察してまいりました。そのうち10年間は院長として病院運営にも携わってまい
りました。そして2017年4月、外来診療を通してより一層地域医療に専念したい、とい
う思いから開院いたしました。

●先生の専門分野は？

整形外科全般ですが、中でも膝関節疾患が専門です。当院では、関節疾患や骨折・脱臼・
捻挫等の外傷、腰や首等の脊椎疾患の診療、スポーツ障害や腱鞘炎等、そしてリハビリ
テーションを行っています。

●かかりつけ医としての想いは？

近頃は茨木でも古くからある住宅地で、一人暮らしの高齢者の方が多い地域です。寝
たきりで寿命を延ばすのではなく、健康で自立した生活ができる＝「健康寿命」が延び
るようお手伝いしていきたいと思っています。

●メッセージをどうぞ

患者さん一人ひとりに寄り添い、誠実に診療していきたいと思っています。1日でも長
く自力で歩き、生活できるようサポートしてまいります。

住所 〒567-0034 大阪府茨木市中瀬橋2-9-25-101 TEL.072-622-3939

URL <http://sugano-seikei.com/>

診療時間 9:00~12:00, 16:00~19:00

休 診 日 水曜日・土曜日の午後および日曜日・祝日 ※事情により臨時休診になる場合があります。



菅野 博 院長



Topics 地域連携室と医療福祉相談室が1階に移転しました

2021年7月1日より地域連携室と医療福祉相談室が同じ部屋と
なり、1階正面玄関の近くに移転いたしました。

前方支援の地域連携室と後方支援の医療福祉相談室が協力し
て連携を深め、患者さん中心の支援を行ってまいります。
各医療機関の先生方や各施設の皆さんとも、より一層の緊密な
医療連携を築いていけるように努力してまいります。これから
もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



地域連携室 室長:角谷

医療福祉相談室 主任:MSW:中谷, MSW:清水

TEL 072-622-1526(直通) FAX 072-622-1539(直通) TEL 072-622-1515(代表) FAX 072-622-1169(直通)

院内勉強会について

当院では入院中の患者さんの退院に向けて、1週間に1回のお楽しみ「ワイワイ教室」を行っています。現在はコロナ禍でもあり中止していますが、今後も楽しい企画を考えていきたいと思っています。



手洗い研修を行っています

日頃より、当院では感染対策として定期的にスタッフ一同、マスクや手洗いの実施研修を行っています。



茨木みどりヶ丘病院のホームページを開設しました

病院の案内から診療内容やお知らせまで、地域の皆さんへ様々な情報をお伝えしていく場にしたいと考えています。見やすく使いやすいホームページを目指してより一層内容の充実をめざしてまいりますので、ぜひご活用ください。

<https://www.midori-ibaraki.jp/>



編集後記

この度、広報誌『まごころ茨木』を創刊させていただきました。みどりヶ丘ヘルスケアグループの一員として、【まごころ】という言葉タイトルとして採用しました。今後も地域の皆さんに愛される広報誌を目指して頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ご意見・ご感想・お問い合わせはこちらまで

病院広報
電話番号 **072-681-5764**

✉ midori-info@midorigaoka.or.jp



社会医療法人祐生会
茨木みどりヶ丘病院

〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3丁目2-41

診療受付時間 9:00~12:00(月~土曜日) 18:00~19:30(月・水・金曜日)

休診日 日曜日、祝日、年末年始

時間外診療 24時間365日対応 お問い合わせ:072-622-1515(代表)

